

ライフイノベーション(生体分子材料)学位プログラム(博士前期課程)

共通基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OAXA001	医学概論	1	1.0	1	春C	集中		檜澤 伸之, 関根 郁夫, 家田 真樹, 正田 純一, 小田 竜也, 森島 祐子, 榎本 剛史, 山崎 正志, 丸島 愛樹, 松本 功, 許 東洙	悪性新生物、心疾患、脳血管疾患は日本人の死因の上位を占める疾患である。また、整形外科疾患および外傷(スポーツ外傷も含む)は日常的に遭遇することの多い疾患である。これらの疾患について、主に臨床医学の側面からその病態、治療法、治療成績、ならびに解決すべき課題について概説し、関連する研究分野の世界的な動向について学ぶ。	01RC001と同一。 英語で授業。 7/8-7/10
OAXA002	創薬概論	1	1.0	1	春ABC	集中		宮前 友策, 保富 康宏, 杉山 哲也, 伊東 洋行	各製薬企業が新薬を上市するまでにどのようなプロセスを経る必要があるのか、また各社に特徴的な創薬戦略について学習する。また、感染症に対するワクチンの開発と実用化について理解を深める。	01RC002と同一。 英語で授業。 4/13, 4/20
OAXA003	食品科学概論	1	1.0	1	秋A	集中		中嶋 光敏, 磯田 博子, 坂本 和一, 市川 創作, ダス ネヴェス マルコス アントニオ	食品科学は食品を対象とした学問であり、扱う研究分野は非常に広範囲である。また、食品科学に関する研究は日々進歩しており、過去の事例から最新情報まで広くフォローする必要がある。本講義では、食品科学技術に関して、物理的、化学的、生物学的、生化学的、工学的アプローチに基づき、基礎から先端応用まで概説する	01RC003と同一。 英語で授業。 10/13, 10/14, 10/15, 10/27, 10/28
OAXA004	バイオリソース概論	1	1.0	1	秋A	月1,2		小林 正智, 高橋 真哉, 大熊 盛也, 中村 幸夫, 吉木 淳, 阿部 訓也	本講義ではライフサイエンスイノベーションの推進におけるバイオリソースの重要性とバイオリソースセンターの役割について理解を深めることを目指す。そのために動植物個体、細胞、微生物リソース、及び関連技術、付随情報について、スペシャリストによる講義を随伴させる。	01RC004と同一。 英語で授業。
OAXA005	自然史概論	5	1.0	1	秋A	集中		倉持 利明, 樋口 正信, 高橋 真哉	動物学と植物学における研究例のいくつかを紹介し、自然史研究について概観できるようになることを目指す。各分野での概論を講義した後、動物学分野では、動物の進化における寄生物の発生、寄生蟻虫類、動物地理学・生物多様性の研究、寄生蟻虫類の分類と多様性について講義を行う。寄生蟻虫類の分類については実習を行い、その理解を深める。植物学では、植物におけるフラボノイド化合物の特性と分布、コケ植物の生態学・形態学、コケ植物の分類学について講義を行う。コケ植物の分類学については実習を行い、その理解を深める。	01RC005と同一。 英語で授業。 10/22, 10/29
OAXA011	バイオインフォマティクス基礎	4	1.0	1	春ABC	金2		櫻井 鉄也, 二村 保徳, Ranjith Kumar Bakku	本科目では、バイオインフォマティクスに関する基本的な事項を学ぶ。データプロセッシング、シーケンス解析、データ可視化、ネットワークとグラフ、クラスターリング、スーパーコンピュータと並列計算に関する講義に加えて、計算機を利用した演習を通して、基礎理論や実践的手法の理解を深める。	01RC006と同一。 英語で授業。 5/8, 5/15, 5/22, 5/29, 6/5, 6/12, 6/19, 7/10, 7/17, 7/24
OAXA012	医薬品・食品マネジメント学	1	1.0	2	春AB	集中		ブリリアル マイラ, 寺崎 直, 山本 信行, 柏木 健一, 白形 由美子, 内海 潤	近年、ライフサイエンス分野の研究成果を基にした製品開発や製品化に関しては、知的財産権の管理が重要になってきている。今後は当該分野の研究者も、これらに関する知識を持ち、自身でもその管理に関わることが課題になっていくと考えられる。本科目では、第一線の専門家により、医薬品・食品ビジネスマネジメントに関わる知財管理、運用、投資について、創薬・機能性食品・薬用化粧品開発の実例を提示してもらい、理解を深める。	01RC007と同一。 英語で授業。 5/13, 5/28, 6/10, 6/12, 6/18
OAXA013	レギュラトリーサイエンス	1	1.0	2	春A	集中		フォンテス セシル ルギヤル, Rage Andrieu Virginie, ブリリアル マイラ	レギュラトリーサイエンスは、科学技術基本計画において、「科学技術の成果を人と社会に役立てることを目的に、根拠に基づき確かな予測、評価、判断を行い、科学技術の成果を人と社会とも調査の上で最も望ましい姿に調整するための科学」と定義されている。本講義においては、日本およびヨーロッパにおいて、レギュラトリーサイエンスが、医薬品および医療機器の有効性、安全性、質の保証において果たす重要な役割について、概説する。	Students other than the 2nd-year T-LSI cannot register the subject. 01RC008と同一。 英語で授業。 4/27, 4/28, 4/30, 5/1

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OAXA021	ライフイノベーション実習	5	1.0	1	通年	随時		宮前 友策, 高橋 真哉, 植村 邦彦, 神谷 俊一, 許 東 洙, フリリアル マイラ, 河地 正伸, 小林 正智, 陳 国 平, 平川 秀彦, 伊東 洋行, カウル レヌー ワダワ, 川上 亘作, 吉松 嘉代	ライフサイエンス分野の国立研究開発法人(理化学研究所、産業技術総合研究所、物質材料研究機構など)および企業の研究所を見学し、各機関で活躍する研究者と交流する機会を提供する。さらに、各研究所における先端研究に関する講義を行う。学生は、各研究所の研究への独自の取り組み方を学習する。学習成果は学生の研究活動に活かされるだけでなく、大学院修了後のキャリアパスを考える材料となることを目的とする。	01RC018と同一。 英語で授業。
OAXA022	ライフイノベーションチーム型演習	2	2.0	1	春AB秋AB	金1		神谷 俊一, 宮前 友策	本科目は、ライフサイエンスに基づいてアプローチ可能な実社会の中の問題を見つけ出し、プログラム内の異分野の研究を行う学生との協働作業により解決策を提案する演習科目である。本演習を通してイノベーションに必要な社会的ニーズの的確な把握と、関連する他分野の専門家との共同作業を行うための能力を養成する。具体的には、ライフサイエンス研究における方法やアプローチ、特許調査の重要性と特許出願、新規研究プロジェクトの計画において必須とされる知識・スキルなどを講義する他、受講者によるプレゼンテーションや受講者同士でのディスカッションなどを行う。	01RC017と同一。 英語で授業。
OAXA023	責任ある研究行為: 基盤編	1	1.0	1	通年	応談		平川 秀彦	研究活動を行うにあつては研究倫理規範に精通していることが必須である。本コースは、一般財団法人構成研究推進協会(APRIN)が提供するのeラーニングを利用することにより、学生は責任ある研究行為について理解する。	01RC011と同一。
OAXA031	博士前期ライフイノベーションセミナー	1	1.0	1	秋学期	集中		ゴードینگ コリン, 磯田 博子, フィリパコポロス パナギス, メラー ジェーン, オニール エリック, ガードハンセン マッズ, ステイングリム ムッソン, エイリークル, ヒメネス カストディア ガルシア, ラリユー ライオネル	本授業では、海外の協力教員が、ライフサイエンスにおける基礎から最先端の研究トピックに関するセミナーを行う。講師陣とのインタラクティブなやり取りを通して、「どのように経歴を伸ばすか?」や「論文を書くこと、審査プロセス、エディターやレフェリーの見方からみえるもの」について学び、研究者の資質、研究者に必要なプレゼンテーション、ディスカッション、コミュニケーション能力などを学生が獲得することを目的とする。	01RC013と同一。 英語で授業。
OAXA041	博士前期インターンシップI	3	1.0	1・2	通年	応談		平川 秀彦	国内外の研究機関、企業、行政機関、本学位プログラムに参画する研究室において研究活動や就業体験をする。新たなスキル・知識を修得するだけでなく、社会貢献に対する意識、専門分野外の人も協働できる能力、新たな問題に対する対応力を養い、社会人としての実践力を修得する。	
OAXA042	博士前期インターンシップII	3	1.0	2	通年	応談		平川 秀彦	前期課程における研究に関連する課題の分野横断的な解決の糸口を見つけることを目的として、国内外の研究機関、企業、行政機関、本学位プログラムに参画する研究室において研究活動や就業体験をする。新たなスキル・知識を修得するだけでなく、社会貢献に対する意識、専門分野外の人も協働できる能力、新たな問題に対する対応力を養い、社会人としての実践力を修得する。	ライフイノベーション博士前期研究I春およびライフイノベーション博士前期研究II秋の単位を修得済みの学生のみ履修可。博士前期インターンシップIを履修済みの学生は履修不可。

共通専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OAXA10F	ライフイノベーション博士前期演習I秋	2	1.0	1	秋学期	随時		ライフイノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	各自の所属研究室において、最新の研究論文の抄読会に参加し、自身の研究に関連する論文の内容について、科学的なプレゼンテーションやディスカッションを行い、専門知識を身に付けるためのスキルを身に付け、専門分野における最新の研究知識や研究動向を把握する。この科目はライフイノベーション博士前期演習I春(OAXA10S)、II秋(OAXA20F)、II春(OAXA20S)と補完関係にある。	01RC501と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OAXA10S	ライフィノベーション博士前期演習I春	2	1.0	1	春学期	随時		ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	各自の所属研究室において、最新の研究論文の抄読会に参加し、自身の研究に関連する論文の内容について、科学的なプレゼンテーションやディスカッションを行い、専門知識を身に付けるためのスキルを身に付け、専門分野における最新の研究知識や研究動向を把握する。この科目はライフィノベーション博士前期演習1秋(OAXA10F)、11秋(OAXA20F)、11春(OAXA20S)と補完関係にある。	01RC502と同一。
OAXA11F	ライフィノベーション博士前期研究I秋	3	2.0	1	秋学期	随時		ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	修士論文を完成させるために各自が所属する所属研究室において、研究計画を立案し、研究の遂行に必要な研究スキルおよび知識を身に付けつつ、研究を進める。研究の進捗状況をプレゼンテーションし、議論を深めることにより、研究の軌道修正を行う。この科目はライフィノベーション博士前期研究1秋(OAXA11F)、11秋(OAXA21F)、11春(OAXA21S)と補完関係にある。	01RC503と同一。
OAXA11S	ライフィノベーション博士前期研究I春	3	2.0	1	春学期	随時		ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	修士論文を完成させるために各自が所属する所属研究室において、研究計画を立案し、研究の遂行に必要な研究スキルおよび知識を身に付けつつ、研究を進める。研究の進捗状況をプレゼンテーションし、議論を深めることにより、研究の軌道修正を行う。この科目はライフィノベーション博士前期研究1秋(OAXA11F)、11秋(OAXA21F)、11春(OAXA21S)と補完関係にある。	01RC504と同一。
OAXA20F	ライフィノベーション博士前期演習II秋	2	1.0	2	秋学期	随時		ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	各自の所属研究室において、最新の研究論文の抄読会に参加し、自身の研究に関連する論文の内容について、科学的なプレゼンテーションやディスカッションを行い、専門知識を身に付けるためのスキルを身に付け、専門分野における最新の研究知識や研究動向を把握する。この科目はライフィノベーション博士前期演習1秋(OAXA10F)、1春(OAXA10S)、11春(OAXA20S)と補完関係にある。	01RC506と同一。
OAXA20S	ライフィノベーション博士前期演習II春	2	1.0	2	春学期	随時		ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	各自の所属研究室において、最新の研究論文の抄読会に参加し、自身の研究に関連する論文の内容について、科学的なプレゼンテーションやディスカッションを行い、専門知識を身に付けるためのスキルを身に付け、専門分野における最新の研究知識や研究動向を把握する。この科目はライフィノベーション博士前期演習1秋(OAXA10F)、1春(OAXA10S)、11秋(OAXA20F)と補完関係にある。	01RC507と同一。
OAXA21F	ライフィノベーション博士前期研究II秋	3	2.0	2	秋学期	随時		ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	修士論文を完成させるために各自が所属する所属研究室において、研究計画を立案し、研究の遂行に必要な研究スキルおよび知識を身に付けつつ、研究を進める。研究の進捗状況をプレゼンテーションし、議論を深めることにより、研究の軌道修正を行う。この科目はライフィノベーション博士前期研究1秋(OAXA11F)、1春(OAXA11S)、11春(OAXA21S)と補完関係にある。	01RC508と同一。
OAXA21S	ライフィノベーション博士前期研究II春	3	2.0	2	春学期	随時		ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	修士論文を完成させるために各自が所属する所属研究室において、研究計画を立案し、研究の遂行に必要な研究スキルおよび知識を身に付けつつ、研究を進める。研究の進捗状況をプレゼンテーションし、議論を深めることにより、研究の軌道修正を行う。この科目はライフィノベーション博士前期研究1秋(OAXA11F)、1春(OAXA11S)、11秋(OAXA21F)と補完関係にある。	01RC509と同一。

専門科目(生体分子材料)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OAXA701	バイオマテリアルサイエンス	1	1.0	1	秋A	集中		Walde Peter Johann	本講義ではライフサイエンス分野におけるバイオハイブリッドシステムの利用による革新的な応用およびそのトレンドを概説する。バイオハイブリッドシステムとは生体由来分子(タンパク質や脂質などの生体分子)と非生体由来物質(合成高分子、両親媒性物質、無機粒子など)からなる共役体や分子集合体のことである。バイオハイブリッドシステムの調製法や機能解析を医薬品やバイオテクノロジー分野への現在・未来の応用例の批評と合わせて説明する。ペプチド・タンパク質が有する様々な機能性を幅広く応用するためのペプチド・タンパク質-ポリマー共役体に関して主に焦点を当てる。	英語で授業。 10/5-10/9

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OAXA702	生体分子工学	1	1.0	1	春BC	木1,2		平川 秀彦, 富田 秀一郎, 寺本 英敏, 亀田 恒徳, 宮岸 真, 市川 創作	生体分子を主要構成成分とする超分子・巨大分子は高い生体適合性・持続可能性を有するだけでなく、化学的・物理的特性にも優れており、実用的なマテリアル・ツールとして利用されつつある。最先端の生体超分子の合成・応用に関する知識を修得するためにオムニバス方式での講義を実施する。	英語で授業。 6/18, 6/25, 7/2, 7/9, 7/16
OAXA703	プロジェクトマネジメント	1	1.0	1	春AB	木1,2		佐藤 知一, 清田 守, 平川 秀彦	本コースは、プロジェクトの定義、プロジェクトマネジメントの用語やプロセス(立ち上げ、計画、実行、監視コントロール、終結)の概要を提示し、基礎的なプロジェクトマネジメントの理解を深める。加えて、実際に使われるプロジェクト運営ツールの概要、活用方法、活用事例も示す。従来型の大型プロジェクトに加え、研究開発型、私生活型のプロジェクトマネジメント事例も紹介する。それにより生体材料の研究開発等に役立つプロジェクトマネジメントの理論と実務の基礎を理解する。	英語で授業。 5/14, 5/21, 5/28, 6/4, 6/11